

このガイドラインは、コロナ禍の経験を踏まえ、劇場でお客様と公演関係者が健康に気遣い安心安全に過ごすために、「気をつけた方が良い事」「こうした方が安全だろう」と考えられることをまとめた平時のガイドラインです。
劇場には多様な方がご来場されます。それぞれの方の健康や安全に関する意識や考え方もそれぞれです。
劇場や演劇を楽しむ方がお互いを気遣い、みんな気持ちよく過ごせるように、劇場に来られる際に一度目を通し、気にかけて頂ければ幸いです。

※ほかに必要と思われる項目があれば、追加される可能性があります。

※再び、感染症の流行など危険な状況になった場合には、緊急時のガイドラインに切り替える場合があります。

●ご来場されるお客様へ

●体調に不安のある時は、来場をひかえましょう。

風邪のような症状など、体調に不安がある時はご来場をひかえましょう。ご自身も苦しいばかりか、他の方にご迷惑をかけてしまう場合もあります。舞台との出会いは一期一会ですが、またの機会に是非ご来場下さい。ご予約をキャンセルされる場合は、公演主催者へご連絡をお願いいたします。

●こまめな手洗いや必要があれば消毒などを実施しましょう。

こまめな石鹸と流水による手洗い、あるいはアルコール消毒は、コロナなどに限らず様々な感染症を防ぐのに一定の効果があります。習慣にしておくことで安心です。

●客席内でのマスク着用は任意ですが推奨します。

マスクの正しい着用は感染症などの防止に一定以上の効果があります。劇場は多様な環境・状況の方が集まる場所です。マスクをしていないと不安な方も、逆にマスクをつけることが難しい方もいらっしゃいます。お互いに思いやりをもって劇場でお過ごし頂ければと思います。

冬場など寒く乾燥する時期や、長期休暇の後など、コロナに限らず種々の感染症が拡大しがちな時期には、特に高齢者の方や持病をお持ちの方には劇場施設内でのマスクの着用を強く推奨いたします。

マスクを必要と感じられた時は、受付などのスタッフにご相談下さい。

●体温の調節や水分補給などにお気を付けてください。

劇場では、興行場法のルールにのっとり常時換気し、温度も過ごしやすいように気をつけていますが、人によって感じ方が違ったり、場所によって温度の差が出る場合もあります。上着の脱ぎ着などでも調整をお願いいたします。

また、乾燥による咳や熱中症対策などのために、当劇場ではペットボトルや水筒など蓋つきの容器による水分補給はOKとしております。周りのお客様や舞台上に配慮し節度をもってご利用下さい。

●ロビーでのご飲食は節度をもって。

当劇場では、ロビーでのご飲食は禁止していませんが、公演主催者によって対応が異なりますので、事

前に確認の上ご注意ください。またテーブルや十分なスペースが無かったり、食べ物の匂いなどを不快に感じるお客様もいらっしゃる為、できれば飲み物に留め、お食事などはご来場前やご来場後に他の施設のご利用をご検討下さい。

●劇場を利用される関係者の方へ

●健康や体調管理に関する意識を高めましょう。

俳優もスタッフも体が資本です。特に俳優は舞台に立つことができなければ公演に大きな影響を与えてしまいます。感染症に限らず怪我なども含め、日ごろから体調管理に努め、不安がある時や問題のある時は、制作サイドに報告・相談し、必要があれば医師の診断を仰ぐようにしましょう。

万一、言いづらい場合には、劇場にご相談頂いても構いません。コロナやインフルエンザはもちろんの事、共演者や観客の健康に影響するようリスクを抱えて舞台に立つ、お客様に対応する事は道義上あってはならない事です。様々な影響を考えて不安を覚えるかもしれませんが、誠実に対応して下さい。

●公演1か月前頃からは日常生活でもマスク着用を推奨。

マスクで全て防げるわけではありませんが、無いよりも安全であると考えられます。小劇場では、俳優・スタッフ専業の方ばかりではなく、他に仕事や日常の生活をお持ちの方が多くいます。稽古場や劇場で気をつけていても、他の場所でリスクに晒される場合があります。公演前に何らかの体調不良に見舞われた場合、公演の実施や作品のクオリティに大きな影響を及ぼす可能性があります。公演が近づいたらリスク管理の為にも日常的なマスク着用を推奨します。

●劇場施設内では、こまめな手洗いやうがいを心がけましょう。

劇場の空間は乾燥しやすく、様々な方が出入りされますので、残念ながらコロナ等に限らず感染症のリスクは比較的高いと考えられます。こまめな手洗いやうがいを心がけましょう。特に、ケータリングや食事の前には、必ず手洗いや手指消毒を実施して下さい。

●劇場施設内でのマスク着用は関係者・観客ともに任意ですが、特に関係者には強く推奨します。

マスクの正しい着用は感染症などの防止に一定以上の効果があります。公演を無事安全に終えなくてはならない関係者の方には着用を強く推奨いたします。

お客様にもマスク着用をお願いする場合は、混乱のおこらないように事前に適切な告知をするようにしてください。また任意の場合でも、ご来場されてマスクを希望されるお客様がいる可能性がございます。公演主催者の側でお渡しできるマスクの用意や、手指消毒の用意などは整えておきましょう。

●物販や面会時のお客様との過度な接触は控えましょう。

俳優やスタッフが物販や面会に出る事は、平時は特に制限いたしません。公演主催者の判断で適切に行ってください。ただ、お互いの健康のために、お客様との過度な接触は避け、できれば写真撮影などの際以外は、マスクを着用しておくほうが安心なように思います。

●予約時などにお客様の連絡先は把握しておくようにつとめましょう。

一般的な予約サイトやシステムでは、お客様のご連絡先情報を取得できるかと思えます。感染症対策に限らず、怪我や機材トラブルによる中断・一部中止など、公演には万一のトラブルが発生する可能性があ

ります。SNS 等を利用されないお客様もいらっしゃいますので、万一の際に誠実にお客様に告知対応ができるように常に準備しておきましょう。

●**風通しの良い人間関係とリスペクトを持ったコミュニケーションにつとめましょう。**

劇場内は機材やセットなど、一歩間違えればケガにつながる危険な要素があります。劇場にいるメンバーが安全にその能力を最大限に発揮するためには、風通しが良く、信頼し合える人間関係を築き心の健康を大切にすることも必要です。各ポジションで見えているものや感じることも違ってくるかと思えます。困ったときには 1 人で抱え込まずに周囲に相談し、声を荒げたり頭ごなしに感情をぶつけないなど、お互いにリスペクトを持ったコミュニケーションを心がけましょう。

●**コロナ禍の経験を踏まえ、急速な状況の悪化に備えておきましょう。**

2020 年に始まり数年間影響を及ぼしたコロナ禍も、急に発生しました。同様の事態が今後も起こりうるばかりか、コロナの問題も完全に解消したとは考えられません。俳優やスタッフなど関係者はもちろん、ご来場されるお客様の健康と安全の為に、コロナ禍の間に経験した対策や知識、必要になるかもしれない備品の準備など、今後も油断することなく備えておくのが肝要と思います。

2024 年 3 月 13 日 Ver.1 策定

インディペンデントシアター